

登録コード	A3591387	開講年度	2026					
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	堤 大三	
英文授業名	Presentation							
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					土砂移動現象やその結果発生する土砂災害のメカニズムを理解し、他者にその内容を説明できるようになる。		
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					土砂移動現象やその結果発生する土砂災害のメカニズムを理解し、他者にその内容を説明できるようになる。		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加わむ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					土砂移動現象やその結果発生する土砂災害のメカニズムを理解し、他者にその内容を説明できるようになる。		
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					土砂移動現象やその結果発生する土砂災害のメカニズムを理解し、他者にその内容を説明できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	プレゼンテーションを通して自身の考えを他者に伝える技術を、演習によって身に付けることを行います。							
(5)授業計画	研究室の先輩等、他のメンバーによるプレゼンテーションの聴講、批判を含めたディスカッションを行うことで、目指すべき技術の全体像を把握する。 自身のプレゼンテーションの準備、実践を通して、問題点、改善方法について検討を行う。 上記の反復により、技術向上につなげる。 最終回の授業の最後に授業アンケートを実施する。							
(6)自主学習の指針	プレゼンテーション準備のため、内容の十分な理解の必要性を認識し、事前の学習、考察を行う。							
(7)成績評価の基準	プレゼンテーション技術の向上度合いを基準とする。また、そのためのディスカッションへの積極的な参加も評価基準とする。							
(8)事前事後学習の内容	自主学習の指針に同じ。							
(9)テストやレポートの予定	なし							
(10)成績評価の方法	参加時の実践内容を基に評価を行う。							
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時対応							
(12)履修上の注意	ディスカッションへの積極的な参加を心がけること。							
【教科書】	指定なし							
【参考書】	指定なし							